

One Day Art Trip 2018

in

金谷

&  
木更津

金谷美術館（富津市）

特別展 堂本印象の世界（前期）

昼食 Bay Side Fresh Market Place. the Fish

木更津市郷土博物館金のすず

館蔵資料展 絵画資料に見る明治時代



2018.6.9. Sat 10:10-16:00

J R浜金谷駅集合 J R木更津駅解散

定員30名 参加費500円

保険料+資料代  
(昼食代・入館料・交通費別途)

○徒歩と電車で二つの館を巡ります。木更津市郷土博物館金のすずは太田山公園（標高44m）の上にあります。歩きやすい靴、身軽な服装でお越しください。

○金谷美術館、木更津市郷土博物館金のすず、いずれも学芸員によるガイダンスを聞きながら観覧することができます。

◆お申込み方法◆（どなたでも参加できます）

往復はがきに住所、氏名、年齢、連絡先電話番号及び「金谷・木更津ツアー」参加希望と書いて、千葉県立美術館友の会事務局までお送りください。【平成30年5月30日締切・必着】

申込多数の場合は抽選となります（友の会会員優先）。※直前のキャンセルはご遠慮ください。

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1 千葉県立美術館友の会事務局 043(242)8311 内線34



## 1 行程(予定)

10:10	J R浜金谷駅集合
10:25 ~ 12:00	金谷美術館 特別展観覧(ガイダンス含む)
12:00 ~ 13:00	昼食(the Fish)
13:12 ~ 13:58	移動(J R内房線)
14:30 ~ 15:40	木更津市郷土博物館金のすず観覧(ガイダンス含む)
16:00	J R木更津駅解散

○徒歩と電車で二つの館を巡ります。木更津市郷土博物館金のすずは太田山公園(標高44m)の上にあります。歩きやすい靴、身軽な服装でお越しください。

○金谷美術館、木更津市郷土博物館金のすず、いずれも学芸員によるガイダンスを聞きながら観覧することができます。

○金谷美術館、木更津市郷土博物館金のすずの入館料は別途お支払いください。いずれも20名以上で団体料金となり、金谷美術館720円、木更津市郷土博物館金のすず160円です。なお、木更津市郷土博物館金のすずでは65歳以上、中学生以下は無料です。

○昼食は金谷美術館に隣接する「the Fish」のシーフードレストランで摂る予定です。施設の都合上一括の予約はできませんので、各自でお食事をお楽しみください。

## 2 参考(内房線電車時刻)

○集合時千葉方面から

千葉 8:22 君津行

木更津 9:03

9:16 館山行

浜金谷 10:03

○浜金谷から木更津への移動

浜金谷 13:12 木更津行

君津 13:43

13:52 久里浜行

木更津 13:58

○集合時館山方面から

館山 9:40 木更津行

浜金谷 10:05

○解散後千葉方面

木更津 16:05 千葉行 千葉 16:44

16:15 千葉行 16:55

16:29 千葉行 17:10

16:42 逗子行 17:19

○解散後君津・館山方面

木更津 16:10 君津行 君津 16:16

16:20 君津行 16:27

16:41 君津行 16:47

17:00 安房鴨川行 館山 18:08

## 3 観覧予定の展覧会



堂本印象(明治24(1891)–昭和50(1975))は、戦前の京都画壇で確固たる地位を築いた日本画家です。伝統的な花鳥画や風景画はもとより、仏画や教会の聖画も描きました。戦前期にはまた、雑誌「婦人公論」の表紙絵を手がけたことでも知られています。

戦後は、1954年にヨーロッパを旅した前後から大きく画風が変わり始めます。そして1960年頃から抽象表現による新しい日本画を数多く残しています。1966年には自ら「堂本美術館」を設立、現在は京都府立堂本印象美術館として運営されています。

特別展「堂本印象の世界」は金谷美術館理事長の鈴木裕士さんの熱意と日本画家岩波昭彦さんの企画・構成により実現したもので、関東ではややなじみの薄い感のある堂本印象の大変優れた作品を、京都府立堂本印象美術館の所蔵品により鑑賞することができます。また、下絵と本画を対比しての展示となっていることも特筆されます。

「絵画資料に見る明治時代」は、明治150年記念事業として企画され、木更津市郷土博物館金のすずの所蔵品から明治期の千葉や日本が描かれた版画資料や地図資料が中心となっています。

第1章では二代歌川国輝と小林清親の作品により、近代化に邁進する風景と江戸時代以来の懐かしい風景が同居する様子がうかがえます。

第2章と第3章では、三代歌川広重による「大日本物産図会」にみる明治期の千葉県や日本の産業、風俗を知ることができます。

第4章と第5章では、明治期の地図資料により、当時の木更津の様子や、わが国の中に占める千葉県についてうかがうことができます。

さらに明治期の木更津が描かれた資料として、明治27(1894)年に刊行された「日本博覧図千葉県之部 初編」に収載された銅版画資料が展示されています。こういった絵画資料などを通じて、私たちの郷土や日本をあらためて振り返ってみてはいかがでしょうか。

